

第2章 海難の発生と海難原因

第1節 海難の発生

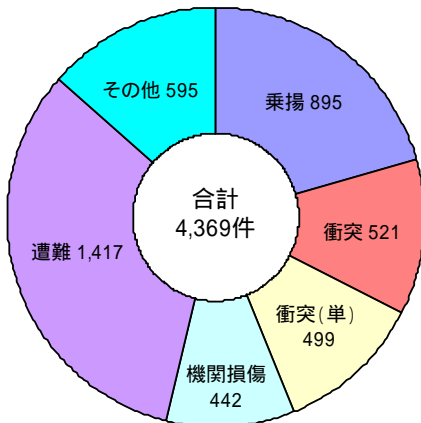
1 海難の発生状況

平成19年中に発生し、理事官が認知した海難は、4,369件5,158隻で、これは前年の4,335件5,081隻と比べて、件数で34件(0.8%)増加し、隻数で77隻(1.5%)増加しています。

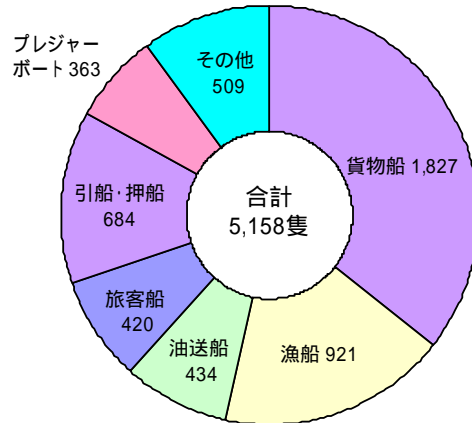
また、海難に伴う死亡・行方不明者及び負傷者(以下「死傷者等」という。)は、合計544人で、前年の667人と比べて123人(18%)減少しています。

死傷者等544人中、死亡・行方不明者数は162人、負傷者数は382人で、それぞれ前年の202人、465人と比べて、40人(20%)、83人(18%)の減少となっています。

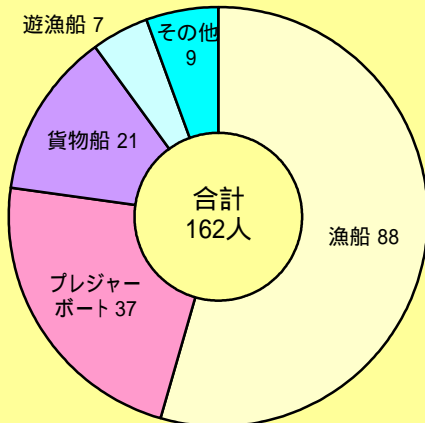
海難種類別発生件数



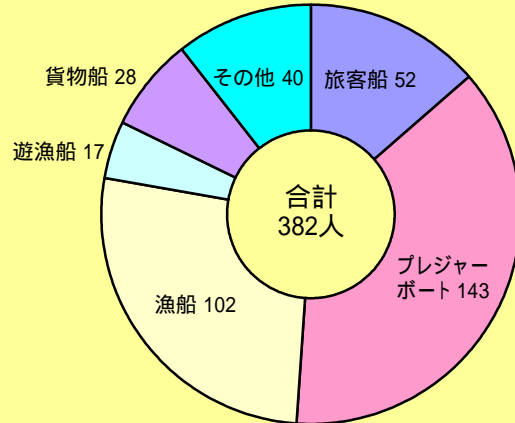
船種別発生隻数



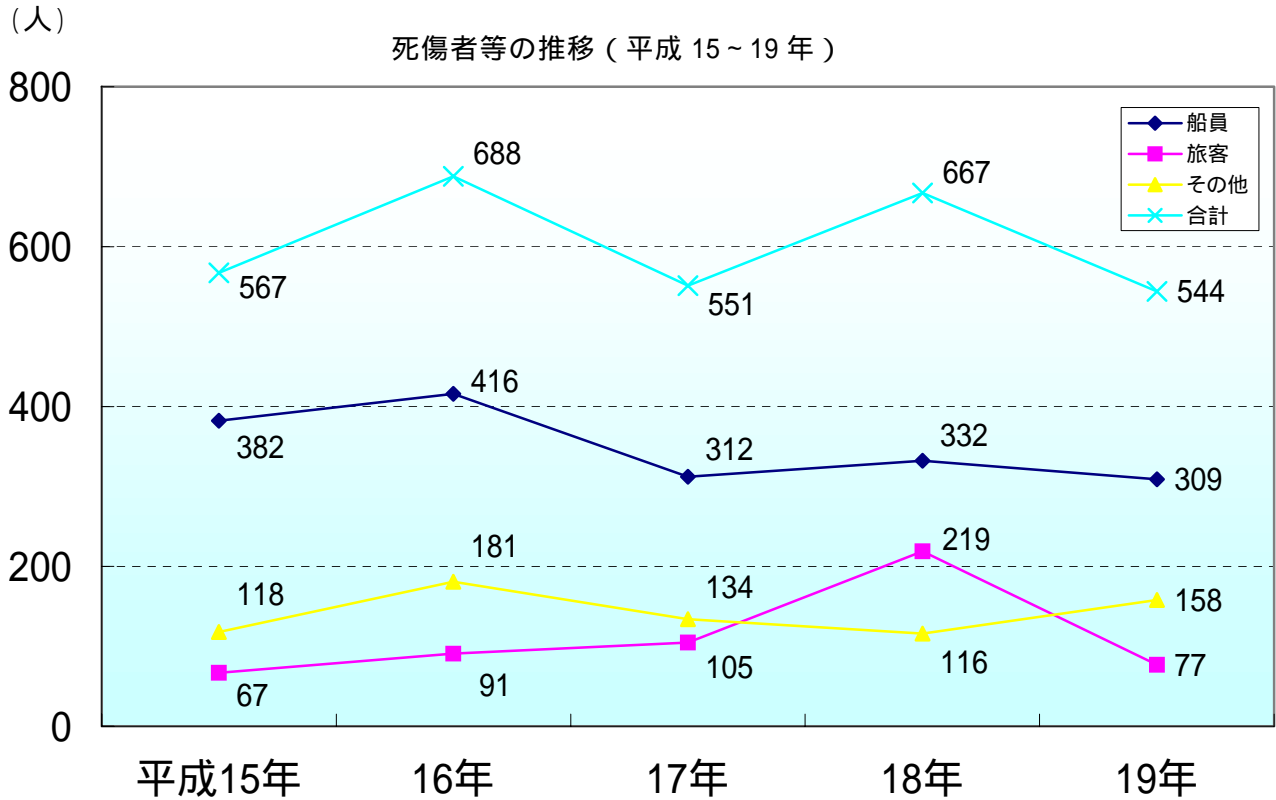
船種別死亡・行方不明者の状況



船種別負傷者の状況



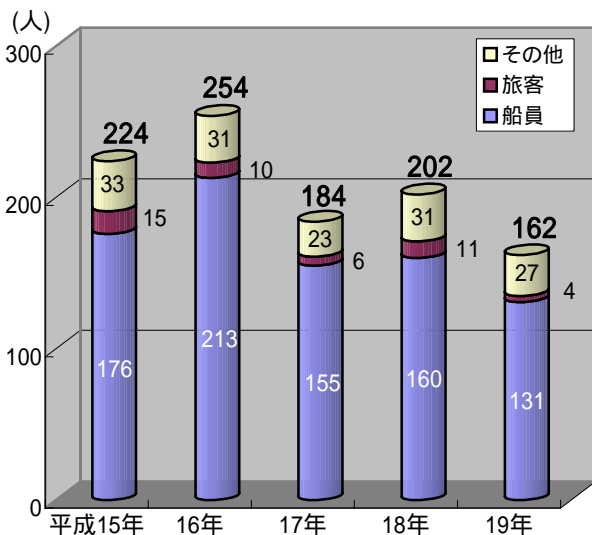
最近5年間の死傷者等の状況を見てみると、毎年増減はあるものの、全体としては横ばいの状況にあります。



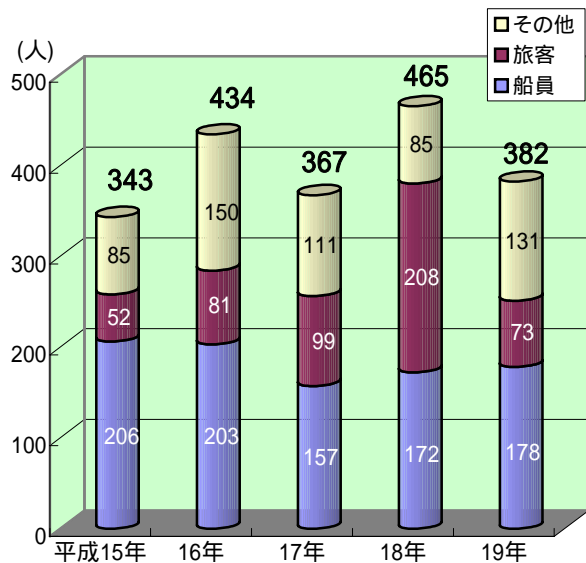
(注) 「その他」とは、荷役作業員等をいう。



死亡・行方不明者の推移



負傷者の推移



2 最近の主要な海難

平成19年1月から平成20年6月までに発生した海難のうち、主要な海難として、次の基準に該当する21件の海難について、それぞれ発生地点を示しました。

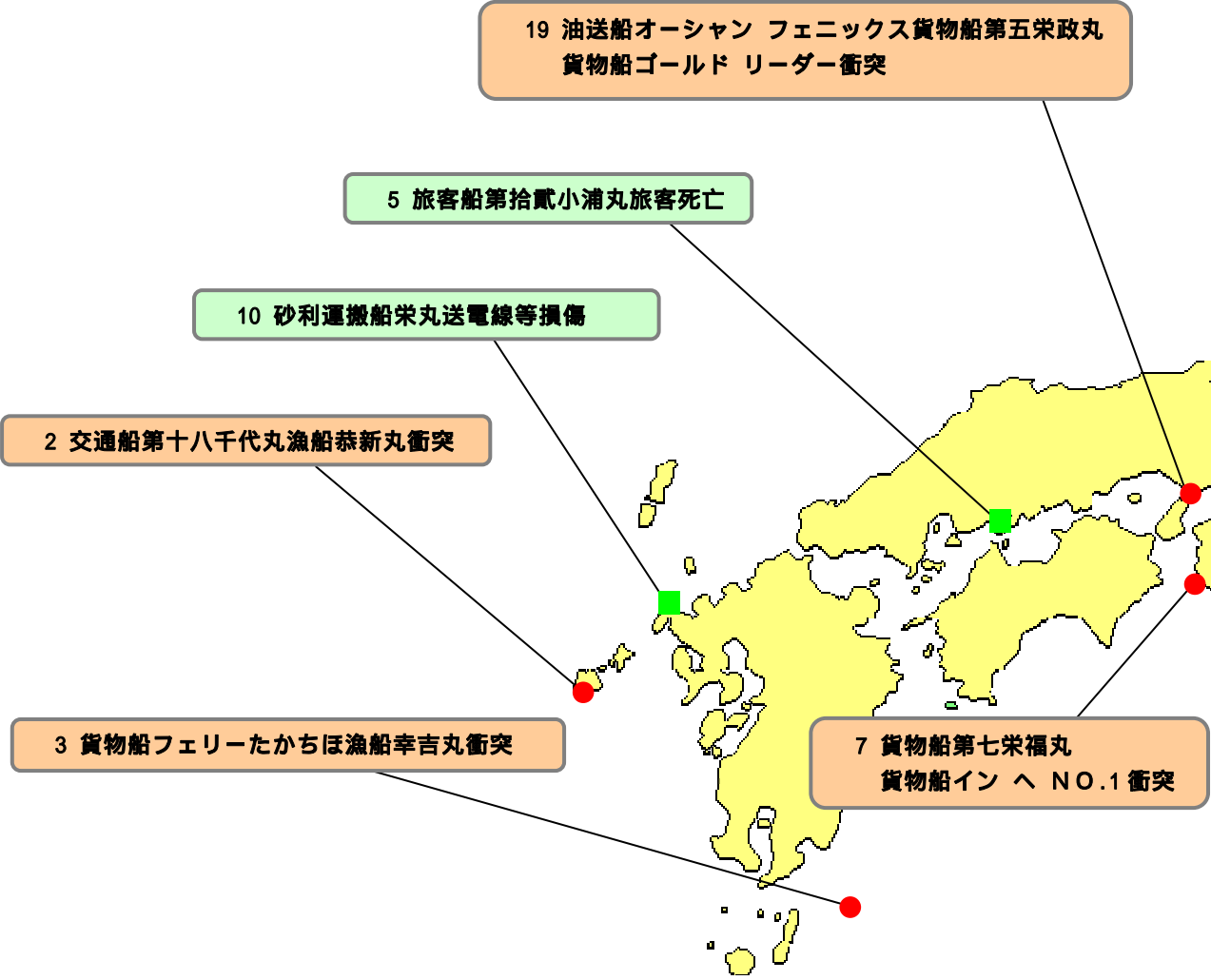
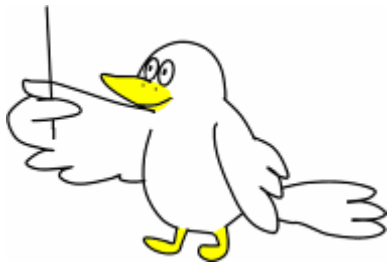
主要な海難の基準	
5人以上の死亡・行方不明者が発生したもの 次の船舶が全損となったもの 旅客船、油送船、ケミカルタンカー、500トン以上の貨物船、100トン以上の漁船、 その他の特殊用途の100トン以上の船舶	旅客の死亡・行方不明者又は負傷者が発生したもの
爆発又は火災で船舶の損傷が重大なもの	社会的反響が大きかったもの

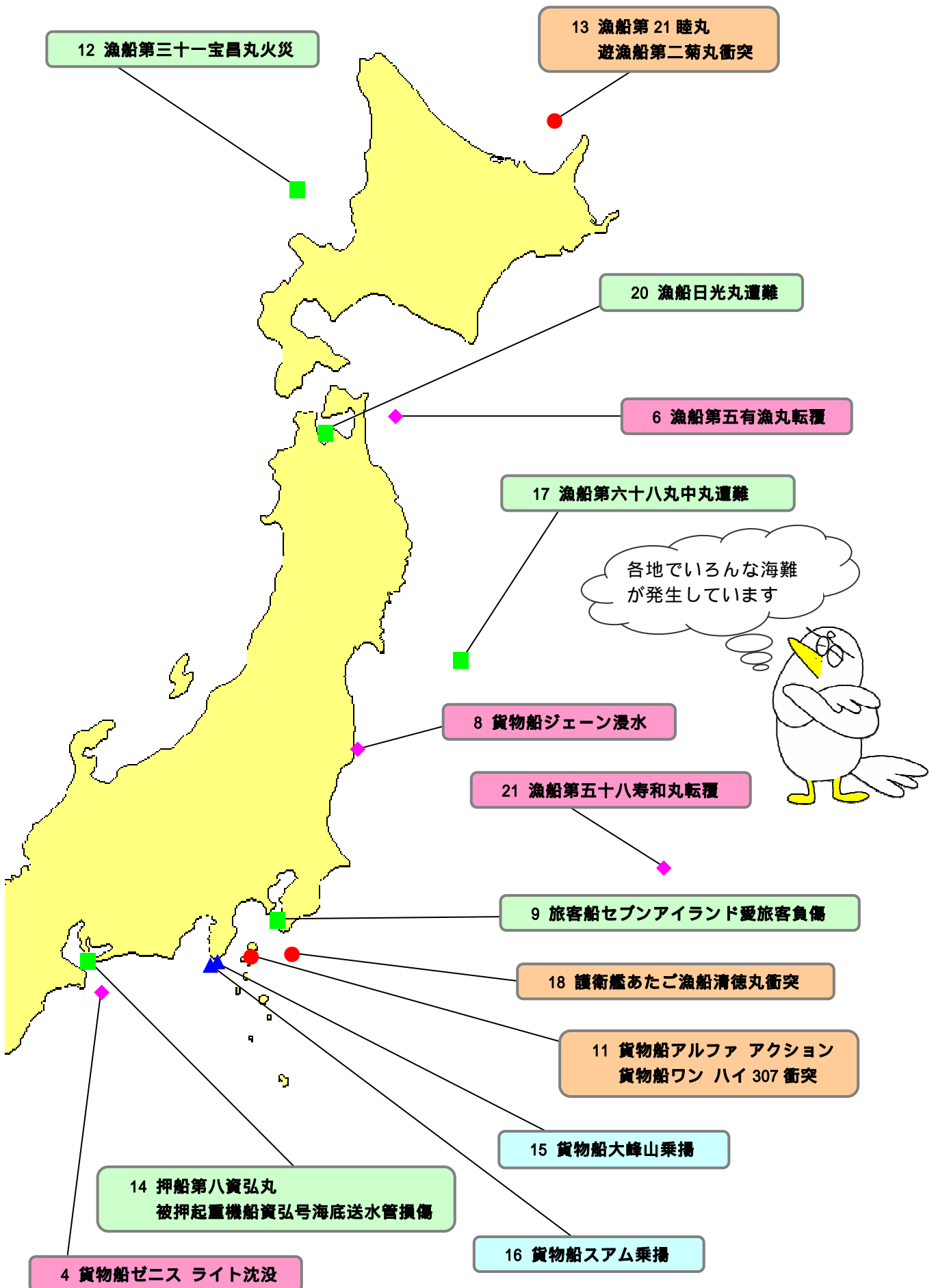
- : 衝突
- : 乗揚
- : 沈没・転覆・浸水
- : その他

図面の番号()は、36~37ページに掲載した主要な海難の番号を示します。

領海外

1 油送船最上川
潜水艦ニューポート ニューズ衝突
ペルシア湾とオマーン湾の間にあるホルムズ海峡にて発生





(主要な海難の概要)

No.・管轄	事件名・概要	
1 神戸	油送船最上川(160,229トン) 潜水艦ニューポート ニューズ(米国海軍、排水量 6,927トン)衝突 〔発生:平成 19年 1月 9日 ホルムズ海峡〕 サウジアラビアラスタヌス港からシンガポール港に向け航行中の最上川と、二号が衝突し、最上川の後部船底バラスタタンク付近が損傷し、浸水した。	外国船関連
2 長崎	交通船第十八千代丸(11トン) 漁船恭新丸(4.9トン)衝突 〔発生:平成 19年 1月 25日 長崎県福江港沖〕 工事作業員を搬送のため福江港から奈留漁港へ向け航行中の千代丸と、漁を終えて福江港へ帰航中の恭新丸が衝突し、千代丸の乗組員 1人、作業員 3人、恭新丸の乗組員 3人の計 7人が負傷した。	
3 門司	貨物船フェリーたかちほ(3,891トン) 漁船幸吉丸(9.1トン)衝突 〔発生:平成 19年 2月 9日 鹿児島県種子島沖〕 那覇港を発し京浜港東京区へ向け航行中のたかちほと、まぐろはえ縄漁操業中の幸吉丸が衝突し、たかちほは、衝突に気付かず航行を続け、幸吉丸は転覆した。	
4 横浜	貨物船ゼニス ライト(韓国籍、2,016トン)沈没 〔発生:平成 19年 2月 14日 三重県大王崎沖〕 木更津港を発し、韓国ポハン港に向け航行中、三重県大王崎沖において船内に浸水し、沈没して乗組員 3人が死亡、6人が行方不明となった。	外国船関連
5 広島	旅客船第拾貳小浦丸(125トン)旅客死亡 〔発生:平成 19年 2月 15日 尾道糸崎港〕 フェリー棧橋で車両搭載作業中、突然後進がかかり離棧し、乗船中の車両が海に転落し、車両に乗車していた旅客 2人のうち、1人が死亡した。	旅客死亡
6 仙台	漁船第五有漁丸(4.48トン)転覆 〔発生:平成 19年 3月 17日 青森県三沢港沖〕 三沢港から出漁後、転覆状態で発見され、船体は全損、乗組員 1人が死亡、2人が行方不明となった。	漁船員死亡等
7 神戸	貨物船第七栄福丸(313トン) 貨物船イン ヘ NO. 1(カンボジア籍、1,208トン)衝突 〔発生:平成 19年 4月 7日 和歌山県江須崎沖〕 衣浦港から和歌山下津港へ向け航行中の栄福丸と、中国天津港から名古屋港へ向けて航行中のイ号が衝突し、栄福丸は船首に破口を生じ、船体は全損、乗組員 1人が行方不明となった。	外国船関連
8 仙台	貨物船ジェーン(セントビンセント及びグレナディーン諸島籍、4,643トン)浸水 〔発生:平成 19年 4月 17日 福島県鷺ノ尾崎沖〕 ロシアサハリンから福島県相馬港に向け航行中、機関室に破孔か亀裂が生じ、報告を受けた船長が最寄りの砂浜に任意座礁し、油が流出した。	外国船関連
9 横浜	旅客船セブンアイランド愛(279.56トン)旅客負傷 〔発生:19年 5月 19日 神奈川県城ヶ島沖〕 東京都岡田港から神奈川県久里浜港を經由して京浜港東京区へ向け航行中、波の影響で船首部フロントガラスが破損し、乗客 30人が負傷した。 当時の天候は晴、南西の風 10ないし 15m、波高 2.5mであった。	旅客負傷
10 長崎	砂利運搬船栄丸(692トン)送電線等損傷 〔発生:平成 19年 7月 19日 長崎県田平港沖〕 長崎県田平港から同県白浦港に向け航行中、備え付けのクレーン先端が、平戸大橋北側の九州電力高圧送電線に接触し、次いで平戸大橋中央部の橋梁に接触し、平戸市などで大規模な停電が発生した。	

No.・管轄	事件名・概要	
11 横浜	貨物船アルファ アクション(ギリシャ籍、77,211トン) 貨物船ワン ハイ 307(シンガポール籍、25,836トン)衝突 〔発生：平成 19 年 7 月 27 日 東京都利島沖〕 名古屋港を発し、チリワスコ港へ向け航行中のア号と、京浜港横浜区を発し、香港へ向け航行中のワ号が衝突し、ア号は船首部に大破口を生じ、ワ号は船尾部を大破した。	外国船関連
12 函館	漁船第三十一宝昌丸(163トン)火災 〔発生：平成 19 年 7 月 27 日 北海道天売島沖〕 いか一本釣り漁に従事中、火災が発生し、乗組員 3 人が死亡、1 人が負傷した。	漁船員死亡等
13 函館	漁船第 21 睦丸(19トン) 遊漁船第二菊丸(5.7トン)衝突 〔発生：平成 19 年 9 月 15 日 北海道知床半島沖〕 北海道ウトロ漁港へ向け帰航中の睦丸と、知床半島西側付近で停留して遊漁中の菊丸が衝突し、両船体に損傷が生じ、菊丸の釣客のうち 1 人が行方不明となり、2 人が負傷した。	旅客死亡等
14 横浜	押船第八資弘丸(19トン)被押起重機船資弘号(60メートル)海底送水管損傷 〔発生：平成 19 年 10 月 1 日 伊勢湾〕 三重県神島漁港防波堤工事のため、工事現場付近で錨泊待機中、揚錨する際に錨を海底送水管に絡めて閉塞し、神島への送水を不能とした。	
15 横浜	貨物船大峰山(499トン)乗揚 〔発生：平成 19 年 10 月 4 日 静岡県神子元島沖〕 千葉港千葉区を発し、姫路港飾磨区へ向け航行中、神子元島付近の岩礁に乗り揚げた。	
16 横浜	貨物船スアム(韓国籍、1,587トン)乗揚 〔発生：平成 19 年 10 月 30 日 静岡県神子元島沖〕 千葉県木更津港を発し、韓国トンヘ港へ向け航行中、神子元島付近の岩礁に乗り揚げた。	外国船関連
17 仙台	漁船第六十八丸中丸(66トン)遭難 〔発生：平成 19 年 12 月 9 日 宮城県金華山沖〕 底びき網漁の操業を終え、宮城県女川港に向け帰航中、船首から大きな波を受けた後に右舷側に傾斜し、海水が浸入して沈没し、乗組員 2 人が死亡、2 人が行方不明となった。 当時の天候は曇、北西の風、風力 5 であった。	漁船員死亡等
18 横浜	護衛艦あたご(排水量 7,750トン) 漁船清徳丸(7.3トン)衝突 〔発生：平成 20 年 2 月 19 日 千葉県野島崎沖〕 ハワイ沖から横須賀港へ向け航行中のあたごと、千葉県勝浦東部漁港を発し、東京都三宅島北方海域へ向け航行中の清徳丸が衝突し、清徳丸は二つに分断され、乗組員 2 人が死亡した。	漁船員死亡
19 神戸	油送船オーシャン フェニックス(2,948トン) 貨物船第五栄政丸(496トン) 貨物船ゴールドリーダー(ベリーズ籍、1,466トン)衝突 〔発生：平成 20 年 3 月 5 日 明石海峡〕 千葉港から東播磨港へ向け西行中のオ号、阪神港大阪区から兵庫県家島へ向け西行中の栄政丸、阪神港堺区から韓国泊ハン港へ向け西行中のゴ号が、明石海峡航路内で衝突し、ゴ号は沈没して乗組員 3 人が死亡、1 人が行方不明となった。	外国船関連
20 仙台	漁船日光丸(5.1トン)遭難 〔発生：平成 20 年 4 月 5 日 青森県久栗坂沖〕 青森市久栗坂漁港をホタテ漁のため出航後、帰航予定時刻を過ぎても帰航せず、捜索の結果、沈没した船体が発見され、乗組員 7 人が死亡、1 人が行方不明となった。 天候は晴で、北西の風、風力 6 であった。	漁船員死亡等
21 横浜	漁船第五十八寿和丸(135トン)転覆 〔発生：平成 20 年 6 月 23 日 千葉県犬吠埼東方沖〕 小名浜港を発し、千葉県犬吠埼東方沖で漂泊中に転覆し、船体は沈没して乗組員 4 人が死亡、13 人が行方不明となった。 天候は雨で、南の風、風力 6 であった。	漁船員死亡等